わがまち横浜再発見

ヨコハマ 3万年の交流

横浜市ふるさと歴史財団 8施設連携展示

横浜のあゆみ

ヒト・モノ・マチ

2015年 7月18日［土］～9月23日［水・祝］

入館料：有料館共通券200円（横浜市歴史博物館・横浜開港資料館・横浜都市発展記念館）、高校生以下無料

主催：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団　http://www.yokohama-history.org/

共催：横浜市教育委員会　後援：朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／産経新聞社横浜総局／東京新聞横浜支局／毎日新聞横浜支局／日本経済新聞社横浜支局／読売新聞横浜支局／NHK横浜放送局／tvk／横浜商工会議所　協賛：モザイクモール港北

会期中、一部展示替を行います。　前期＝7月18日（土）～8月23日（日）　後期＝8月25日（火）～9月23日（水）

会場　横浜市歴史博物館

上段図「東海道分間延絵図」（郵政博物館所蔵）／中段右から3図「武蔵国留守所代連署書状」（早稲田大学図書館所蔵）

わがまち横浜再発見

ヨコハマ 3万年の交流

横浜市ふるさと歴史財団 8施設連携展示

ハマを駆ける

クルマが広げた人の交流

2015年7月18日[土]～9月23日[水・祝]

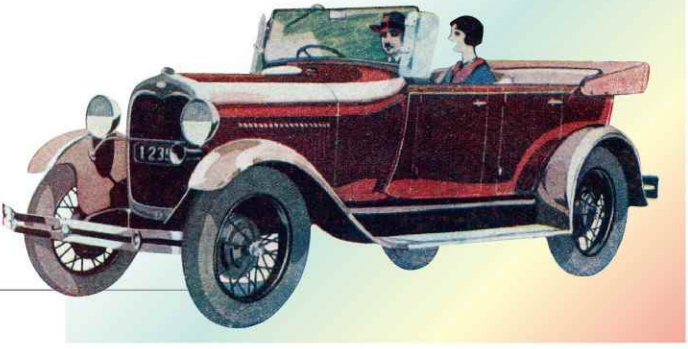
入館料：有料館共通券200円(横浜市歴史博物館・横浜開港資料館・横浜都市発展記念館)、高校生以下無料

主催：公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団 http://www.yokohama-history.org/

共催：横浜市教育委員会 後援：朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／産経新聞社横浜総局／東京新聞横浜支局／毎日新聞横浜支局／日本経済新聞社横浜支局／読売新聞横浜支局／NHK横浜放送局／tvk／横浜商工会議所 協賛：モザイクモール港北

明治・大正編 横浜開港資料館

昭和編 横浜都市発展記念館



わがまち横浜再発見

ヨコハマ 3万年の交流

(公財)横浜市ふるさと歴史財団は、市内8つの歴史関連施設を運営しています。この夏、これらの施設が連携し、財団の総力を結集したこれまでにない規模の展覧会を開催します。

コンセプトは「交流の場」。横浜の歴史といえば、多くの人はペリーや開港を思い浮かべるかもしれません。しかし横浜は、原始の昔から、時代を超えて人やモノが行き交う場所だったのです。展示では、この「交流の場」としての横浜の歴史を紹介し、現代にもつながる横浜のアイデンティティについて考えていきます。

ぜひ多くの会場をご覧いただき、「交流の場」横浜の歴史と新たな魅力を感じてください。

横浜市歴史博物館

横浜のあゆみ

ヒト・モノ・マチ

メイン会場となる横浜市歴史博物館では、横浜の原始から明治時代初年までの歴史をとりあげ、陸の道や海の道を通じてもたらされた人・モノ・情報の広がりや、各時代の都市の様相など、「交流の場」としての横浜の姿を多くの重要文化財とともに紹介します。また、横浜ユーラシア文化館が担当する「古地図にみるユーラシアと日本」のコーナーを設置し、横浜ユーラシア文化館所蔵の古地図を軸に、ユーラシア世界の様相と日本の位置をさぐります。

貴人埴輪［重要文化財］
（鴻巣市教育委員会所蔵）

展示構成

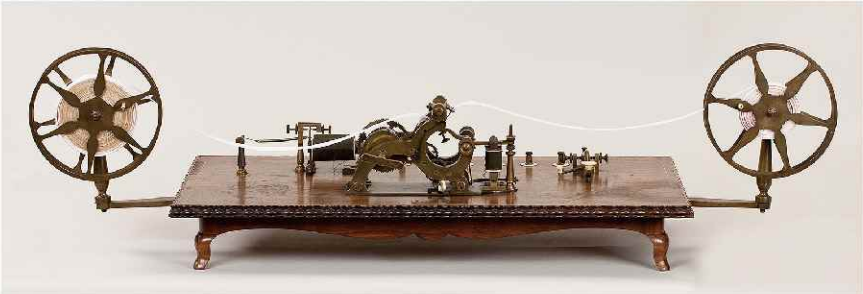
Ⅰ　人々が生きた大地 ―変わる横浜の形―

Ⅱ　陸の道を使って

Ⅲ　海の道が運んだもの ―港と廻船、運ばれたモノ―

Ⅳ　開かれた都市 ―六浦・神奈川・横浜―

Ⅴ　古地図に見るユーラシアと日本



エンボッシング・モールス電信機［重要文化財］（郵政博物館所蔵）

横浜ユーラシア文化館は
「横浜のあゆみ」展において
コーナー展示
「古地図にみるユーラシアと日本」を
実施します。

華夷図（横浜ユーラシア文化館所蔵）

開館時間	9:00～17:00（入館は閉館の30分前まで）
休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日）
所在地	〒224-0003　横浜市都筑区中川中央1-18-1
TEL	045-912-7777
交通	横浜市営地下鉄「センター北」駅下車徒歩5分

横浜開港資料館

ハマを駆ける
クルマが広げた人の交流
［明治・大正編］

1859（安政6）年の横浜開港以降、人やモノの移動手段は大きく変化し、都市の発展を促していきました。馬車や人力車、自転車など、横浜の街を駆けぬけた乗り物の歴史を辿っていきます。

初期の人力車（横浜開港資料館所蔵）

開館時間　9:30〜17:00 ※毎週水曜日（祝日を除く）は19:00まで（入館は閉館の30分前まで）
休館日　月曜日（祝日の場合は翌平日）
所在地　〒231-0021横浜市中区日本大通3
TEL　045-201-2100
交通　東急東横・みなとみらい線「日本大通り」駅 ３番出口より徒歩２分

ビゴーの描いた日本初渡来の自動車（同上）

「横浜休日亜墨利加人遊行」（同上）

横浜都市発展記念館

ハマを駆ける
クルマが広げた人の交流
［昭和編］

関東大震災をきっかけに、横浜では自動車が普及していき、1960年代以降になると、自家用車を中心に自動車の台数は爆発的に増加しました。展示では自動車の普及に伴う都市と社会の変化を紹介します。

開館時間　9:30〜17:00 ※毎週水曜日（祝日を除く）は19:00まで（入館は閉館の30分前まで）
休館日　月曜日（祝日の場合は翌平日）
所在地　〒231-0021　横浜市中区日本大通12
TEL　045-663-2424
交通　東急東横・みなとみらい線「日本大通り」駅 ３番出口より０分

よい子の交通双六（横浜都市発展記念館所蔵）

フォード車形広告（新関光二氏所蔵）

横浜市三殿台考古館

弥生トレード
横浜の遺跡から見る 弥生時代の交流・交易

三殿台遺跡からの出土品をふまえ、石器・金属器・玉類などに関する弥生時代の人々の交流・交易の一端を紹介します。

開館時間 9:00～17:00
休館日 第3水曜日
所在地 〒235-0021 横浜市磯子区岡村4-11-22
TEL 045-761-4571
交通 横浜市営地下鉄「蒔田」駅3番出口から徒歩20分

弥生時代の青銅製・鉄製腕輪類（横浜市三殿台考古館他所蔵）

長野から運ばれた石斧（埋蔵文化財センター所蔵）

埋蔵文化財センター

よみがえる 中世称名寺
“赤橋”の橋脚

称名寺で発見された鎌倉時代末の橋脚を復原的に展観すると共に、かわらけ・陶磁器などの遺物を紹介します。

開館時間 9:00～17:00
休館日 土曜日・日曜日・祝日
所在地 〒247-0024 横浜市栄区野七里2-3-1
TEL 045-890-1155
交通 JR根岸線「港南台」駅よりバス「上郷ネオポリス」下車徒歩1分

称名寺苑池出土反橋橋脚
（埋蔵文化財センター所蔵）

横浜市八聖殿郷土資料館

絹の道
原三溪と富岡製糸場

生糸生産地と横浜との交流の歴史をパネルで紹介します。

開館時間 9:30～16:00
休館日 第3水曜日
所在地 〒231-0822 横浜市中区本牧元町76-1
TEL 045-622-2624
交通 JR根岸線「根岸」駅よりバス「本牧市民公園前」「本牧車庫」下車徒歩5分

原三溪
（横浜開港資料館所蔵）

創業当時の富岡製糸場　国輝画（同左）

横浜駅前の日本貿易博覧会の案内所（横浜市史資料室所蔵）

横浜市史資料室

戦争と戦後をめぐる 日本とアメリカ

戦前・戦後の日本とアメリカの関係を資料とパネルで紹介します。

開館時間 9:30～17:00
休館日 7月21日、8月17日
所在地 〒220-0032 横浜市西区老松町1
TEL 045-251-3260
交通 京浜急行「日ノ出町」駅から徒歩5分

関連イベント

EVENT 01 特別講演会

「交流する横浜―日本史のなかの横浜」

日時　7月18日［土］14:00〜16:00
講師　五味文彦（横浜市ふるさと歴史財団理事長）
会場　情文ホール（横浜情報文化センター 6階）
定員　200名
参加費　500円
申込み　当財団ウェブサイトまたは往復はがき
締切　7月8日［水］必着

EVENT 02 連続講座

「横浜3万年の交流」

日時　会期中金曜日14:00〜　（8/28、9/18は10:00〜）
講師
- 7/24　平山尚言（埋蔵文化財センター）「旧石器から縄文へ―横浜3万年のはじまりー」
- 7/31　高橋　健（横浜市歴史博物館）「縄文時代ヨコハマの道・三題噺」
- 8/7　古屋紀之（横浜市三殿台考古館）「弥生時代の交流・交易―横浜市出土遺物から―」
- 8/14　平野卓治（横浜ユーラシア文化館）「古代の水上交通と東国」
- 8/21　阿諏訪青美（横浜市歴史博物館）「中世の関をめぐる人と物の移動」
- 8/28　小林紀子（横浜市歴史博物館）「近世東海道の景観と宿場」
- 9/4　井上　攻（横浜市歴史博物館）「近世の海上交通と神奈川湊」
- 9/11　西川武臣（横浜開港資料館・横浜都市発展記念館）「開港場横浜を支えた海の道・陸の道」
- 9/18　羽田博昭（横浜市史資料室）「戦争と戦後をめぐる日本とアメリカ」

会場　横浜市歴史博物館　講堂
定員　170名
参加費　全9回　3,000円
申込み　当財団ウェブサイトまたは往復はがき
締切　7月14日［火］必着

特別講演会・連続講座・日産わくわくエコスクールの申込み

❶当財団ウェブサイト「関連イベントWeb申込み」より
http://www.yokohama-history.org

❷往復はがき
①希望のイベント名・②住所・③氏名・④電話番号を明記の上、
〒224-0003都筑区中川中央1-18-1　横浜市歴史博物館
「交流する横浜係」までお送りください。

問合せ　横浜市ふるさと歴史財団　Tel：045-912-7771

EVENT 03 展示解説

横浜市歴史博物館
7/26［日］（原始・古代）、8/1［土］（中世）、8/15［土］（近世）、8/22［土］（近代・古地図）　各日11:00〜、14:00〜の2回

横浜都市発展記念館
7/26［日］14:00〜、8/5［水］18:00〜、8/23［日］14:00〜、9/2［水］18:00〜

横浜開港資料館
8/22［土］14:00〜、9/9［水］18:00〜

EVENT 04 シンポジウム

「ハマの轍―陸上交通の近代化と横浜―」

主催　横浜郷土史団体連絡協議会
共催　横浜開港資料館・横浜都市発展記念館
日時　9月12日［土］13:30〜16:30
内容　基調講演・パネルディスカッション
［基調講演］　西川武臣（横浜開港資料館・横浜都市発展記念館）
［報告者］　青木祐介（横浜都市発展記念館）
岡田　直（横浜都市発展記念館）
西川武臣
［コメンテーター］上山和雄（横浜開港資料館・横浜都市発展記念館 館長）
［司会進行］　吉田律人（横浜開港資料館）
会場　横浜開港資料館　講堂
定員　70名
参加費　700円
申込み　往復はがきに①住所・②氏名・③電話番号を明記の上、
〒231-0021　横浜市中区日本大通3　横浜開港資料館内
「横浜郷土史協シンポジウム係」までお送りください。
※郷土史協の加盟団体の方は団体名をお書き添えください。
締切　8月31日［月］必着
問合せ　横浜郷土史団体連絡協議会事務局（横浜開港資料館内）
Tel：045-201-2100

EVENT 05 日産わくわくエコスクール

自動車と環境問題を考える
子供向け体験教室です。
電気自動車の仕組みを学びながら、
キットカーの走行実験をおこないます。

共催　日産自動車株式会社
日時　8月4日［火］10:00〜、13:30〜（約1時間）
対象　小学生4〜6年生（保護者同伴の場合は低学年も可）
会場　横浜都市発展記念館
定員　各回20名
参加費　無料
申込み　当財団ウェブサイトまたは往復はがき（はがき1枚につき1家族まで）
締切　7月24日［金］必着
内容の問合せ　横浜都市発展記念館　Tel：045-663-2424

EVENT 06 横浜市立大学エクステンション講座

「モータリゼーションの時代と都市横浜」

主催　横浜市立大学地域貢献センター
日時　7月25日［土］・8月1日［土］　各日10:30〜12:00
講師　7/25　本宮一男（横浜市立大学学術院国際総合科学群 教授）
8/1　青木祐介（横浜都市発展記念館主任調査研究員）
会場　横浜開港資料館　講堂
参加費　全2回　3,100円
申込み　横浜市立大学ウェブサイト「お申込フォーム」より
締切　7月8日［水］必着
問合せ　横浜市立大学　地域貢献センター
Tel：045-787-8930　Fax：045-701-4338

http://www.yokohama-cu.ac.jp/ext/lib/20150725motorization.html

※イベントにより申込み方法・宛先が異なりますのでご注意ください。　※申込多数の場合は抽選とさせていただきます。